

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公表番号】特表2017-500815(P2017-500815A)

【公表日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2016-542127(P2016-542127)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/30 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 52/30

H 0 4 W 72/04 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信ネットワークにおけるユーザ機器(UE)において動作可能なワイヤレス通信の方法であって、

送信電力を有する複数のアップリンク送信を送信するステップと、

前記送信電力、最大送信電力レベル(MTPL)、および最大電力低減(MPR)の関数として送信電力マージンを計算するステップと、

少なくとも所定のしきい値時間量の間、前記送信電力マージンがしきい値レベル以下であるとの決定に応答して、前記UEの前記送信電力が前記MTPLに達していることを示す測定報告の送信をトリガするステップと、

送信電力制御(TPC)コマンドを受信するステップと、

前記送信電力マージンの以前の値が前記しきい値レベル以下であり、前記受信されたTPCコマンドがDOWNコマンドではない場合に、前記送信電力マージンを前記しきい値レベルに等しく設定するステップとを含む方法。

【請求項2】

前記送信電力マージンを前記計算する前記ステップが、

シグナリングされたフィルタ係数を利用して、前記送信電力、前記MTPL、および前記MPRの前記関数を計算するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記関数が、

$f(TR_k - MTPL + MPR_k)$

を含み、

ここにおいて、

TP_k が、時間kにおける前記UEの前記送信電力であり、

$MTPL$ が、前記最大送信電力レベルであり、

MPR_k が、前記最大電力低減値であり、

$f()$ が、ネットワークによってシグナリングされたフィルタリングである、請求項1に記

載の方法。

【請求項 4】

前記測定報告が、UMTSネットワークのためのイベント6D報告を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記所定のしきい値時間量が、前記イベント6D報告に対応するトリガ時間情報要素によって示される、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

前記アップリンク送信が、高速専用物理制御チャネル(HS-DPCCH)送信を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

請求項1に記載の方法を実行するための手段を備えるユーザ機器。

【請求項 8】

プロセッサによって実行されたときに請求項1に記載の方法を実行するコードを含むコンピュータ可読記録媒体。